

6. 拠点施設整備計画

6-2

6-2 合同庁舎建設計画

(1) 計画概要

【 事業目的 】

九州の中心であり、かつ熊本市の副都心である熊本駅 周辺地区への都市機能集積を図るべく合計14の官署が 移転し、行政機能の中枢を担う。

【 事業概要 】

- 敷地面積 : 約2.5ha
- 事業主体 : 国土交通省九州地方整備局
- 事業完了目標 : 平成22年度(新幹線開業時)までにA棟完成、順次B棟完成
- 施設規模 : A棟一約28,000㎡(6官署入居、職員約1,000名)
B棟一約26,000㎡(8官署入居、職員約600名)
駐車場約400台

【 移転予定官署 】

【現在の第1合同庁舎の官署】

- ・九州管区行政評価局熊本行政評価事務所
- ・九州財務局
- ・熊本国税局
- ・熊本西税務署
- ・熊本国税不服審判所
- ・九州農政局
- ・熊本統計・情報センター
- ・九州総合通信局
- ・熊本労働局



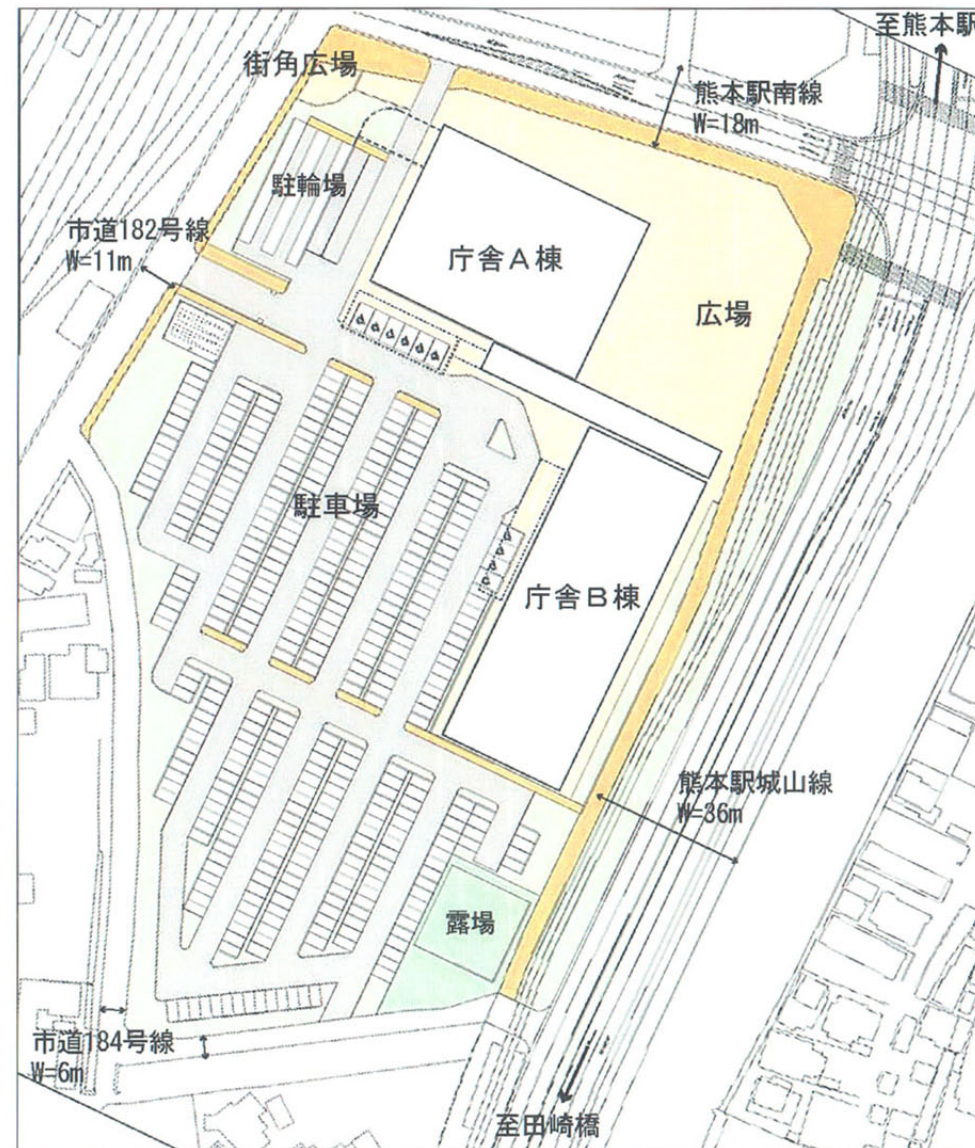
【現在の第2合同庁舎の官署】

- ・九州地方整備局熊本営繕事務所
- ・長崎税関八代税関支署熊本出張所



- ・熊本地方气象台
- ・自衛隊熊本地方連絡部
- ・九州地区自然保護事務所

【 配置計画(案) 】



6. 拠点施設整備計画

6-2

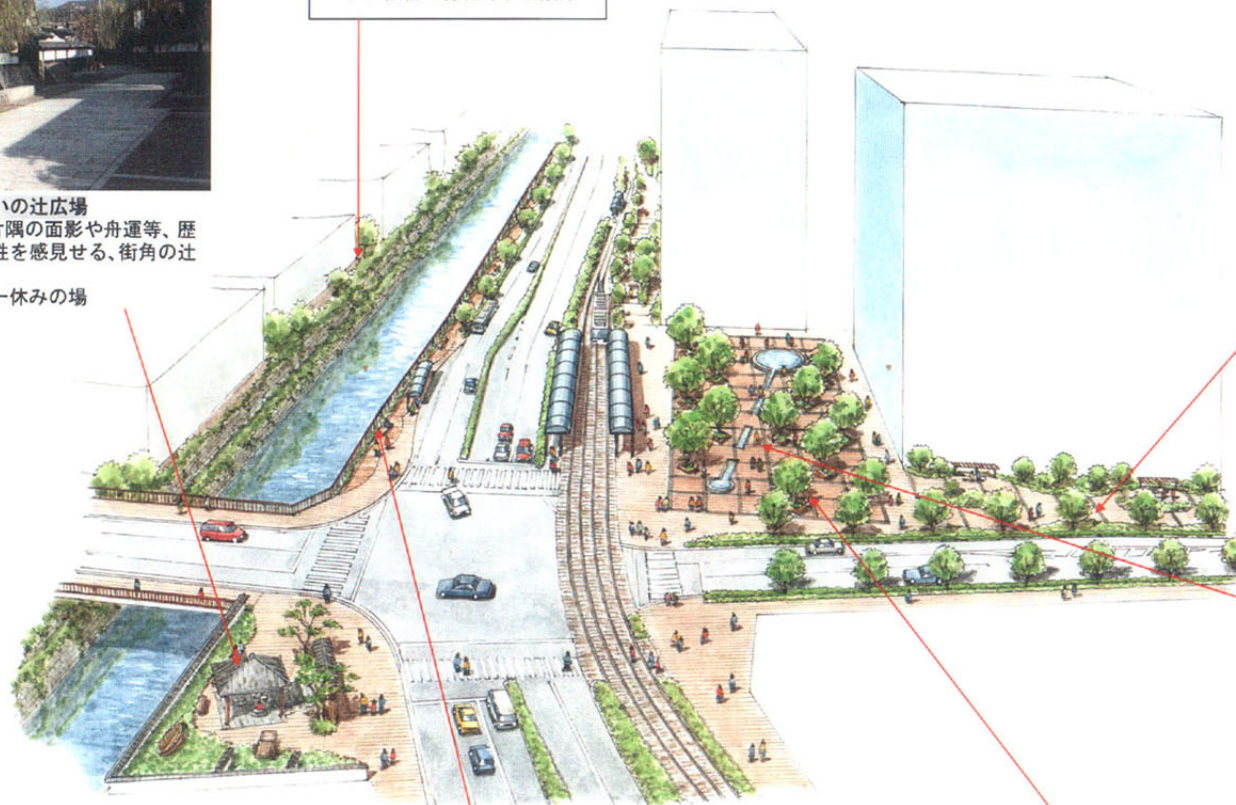
(2) 庁舎前空間のイメージ (南の回遊拠点)

スケッチと写真は全てイメージ



■坪井川沿いの辻広場
・城下町の片隅の面影や舟運等、歴史の重層性を感じせる、街角の辻広場
・ちょっと一休みの場

■坪井川の緑化護岸
・ツタ植物で緑化された護岸



■公開空地：緑豊かな散策路
・自然線形による歩行・緑化空間
・低木・地被・中木（高さ3m程度）の配置により、緑豊かな散策空間の形成



■公開空地：緑豊かな散策路
・外来者を引き込む方向性をもった空間構成
・視線を誘導する直線的な親水路

■心地よい陽だまりと木陰
・外来者や近隣就業者、学生が心地よく憩えるよう豊かな緑陰をつくる構成



■坪井川の散策路
・足元に心地良い坪井川沿いのボードウォーク散策路
・さわやかな緑と調和するベンチ、手すり等の施設

